

特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和7年2月28日（金）

2 発生日時

令和7年2月4日（火）午後3時ころから

令和7年2月23日（日）午前9時40分ころまでの間

3 被害品

現金 1,300万円

4 被害者

和歌山市内に居住 90歳代 男性

5 状況

本年2月4日、被害者宅の固定電話に、通信会社の職員を名乗る電話がありました。この電話を発端に警察官や検察官を名乗る人物から電話があり「暴力団員があなたの通帳を持っていた。犯人じゃないと証明するため、現金に付いている指紋を調べなければならない。」などと言われ、伝えていた預金額である1,300万円を数日に分けて自宅近くの金融機関から引き出しました。

現金が用意できたことを相手に伝えたところ「お金を取りに行きます。玄関の前に現金を置いてください。」などと言われ、指示されたとおりに現金を封筒に入れ、玄関前に置いておきました。

しばらくして玄関前を確認したところ、封筒がなくなっており、その後、相手と電話が繋がらなくなったので、不審に思い当署に電話をかけ詐欺の被害に気付いたものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

有名人を騙って「必ず儲かる」、「投資の仕方を教えてあげる」、見知らぬ人から「友達申請」や「必ず儲かる」、「電子マネーを買って番号を教えて」、「キャッシュカードを渡して」、「保険料を還付します」といったことを電話やメール、SNSで受ければ、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。